

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年8月9日
【四半期会計期間】	第93期第1四半期(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
【会社名】	中国電力株式会社
【英訳名】	The Chugoku Electric Power Company, Incorporated
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 清水 希 茂
【本店の所在の場所】	広島市中区小町4番33号
【電話番号】	082(241)0211(代表)
【事務連絡者氏名】	グループ経営推進部門マネージャー(財務グループ) 砂 岡 義 之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目7番12号(サピアタワー内) 中国電力株式会社 東京支社
【電話番号】	03(3201)1171(代表)
【事務連絡者氏名】	東京支社マネージャー(業務グループ) 寺 沢 敦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第92期 第 1 四半期 連結累計期間	第93期 第 1 四半期 連結累計期間	第92期
会計期間	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成28年 3 月31日
売上高(営業収益) (百万円)	302,213	282,277	1,231,572
経常利益 (百万円)	9,268	9,020	39,226
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	6,869	5,487	27,113
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,111	3,092	2,669
純資産額 (百万円)	624,901	602,552	608,535
総資産額 (百万円)	2,999,000	3,047,292	3,070,948
1 株当たり四半期(当期)純利益 (円)	18.96	15.15	74.83
潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	16.70	13.35	65.93
自己資本比率 (%)	20.7	19.6	19.7

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していない。

2 売上高(営業収益)には、消費税等は含まれていない。

2 【事業の内容】

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はない。

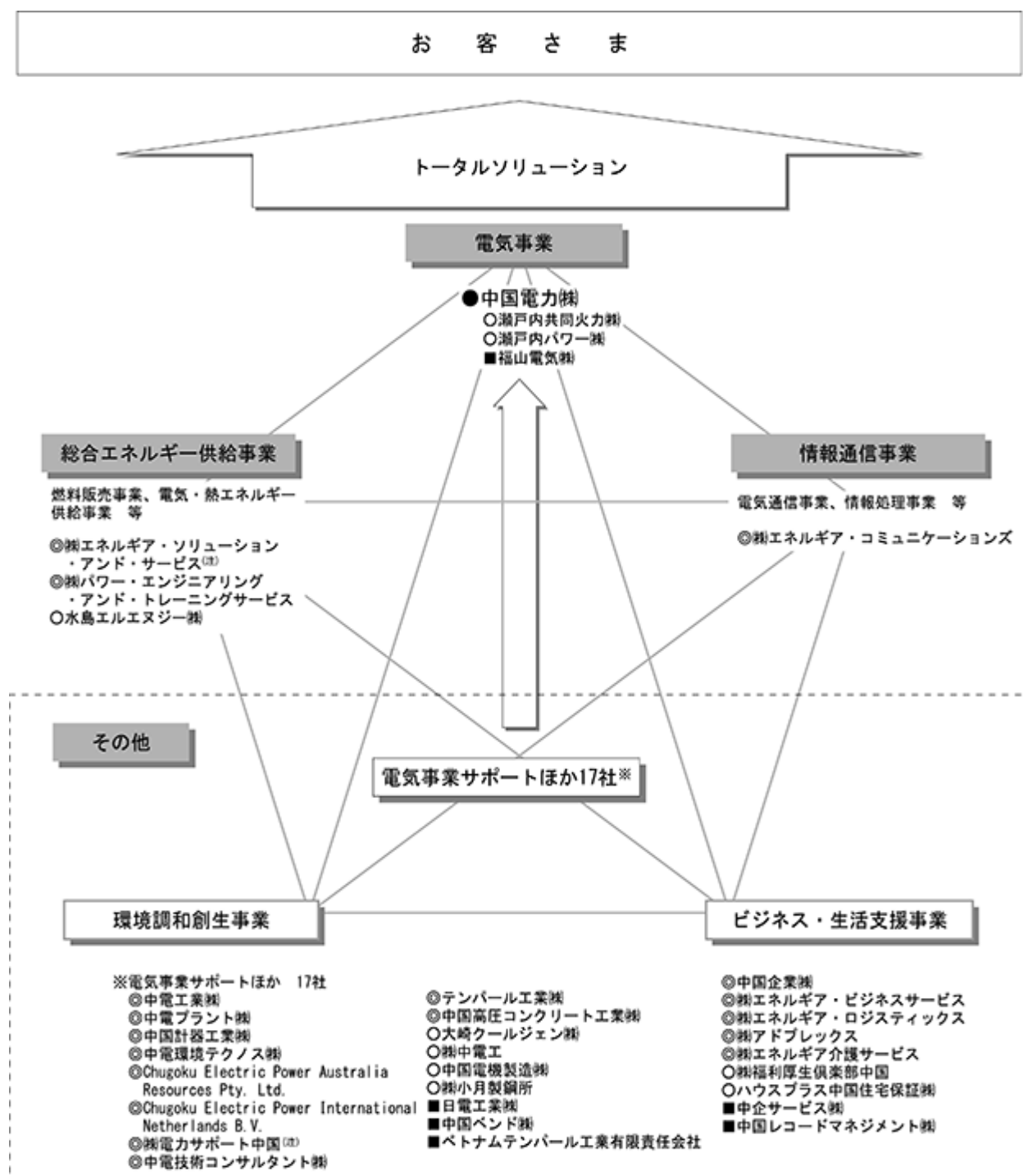
なお、主要な関係会社の異動は以下のとおり。

(総合エネルギー供給事業及びその他の事業)

平成28年 4 月 1 日、(株)エネルギー・ライフ & アクセスの事業のうち、電化・エネルギー事業について会社分割を行い、(株)エネルギー・ソリューション・アンド・サービスが承継した。また、同日、(株)エネルギー・ライフ & アクセスが(株)電力サポート中国に商号変更した。

当社グループを事業系統図によって示すと、次のとおりである。

[事業系統図]



サービス・財の流れ ●財務諸表提出会社、◎連結子会社、○持分法適用関連会社、■持分法適用非連結子会社

持分法を適用していない関連会社13社は、記載を省略している。

中国電力㈱の附帯事業は、総合エネルギー供給事業に含めている。

環境調和創生事業については、平成25年4月の㈱エネルギー・エコ・マテリア解散以降、主たる事業として実施している会社はないが、同社が実施していた石灰石粉末製造・販売事業を中電環境テクノス㈱が承継し、引き続き実施している。

(注) 平成28年4月1日、㈱エネルギー・ライフ＆アクセスの事業のうち、電化・エネルギー事業について会社分割を行い、㈱エネルギー・ソリューション・アンド・サービスが承継した。また、同日、㈱エネルギー・ライフ＆アクセスが㈱電力サポート中国に商号変更した。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項なし

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高(営業収益)が2,822億円と前年同四半期連結累計期間に比べ199億円の減収、営業利益は110億円と前年同四半期連結累計期間に比べ11億円の減益となった。経常利益は90億円と前年同四半期連結累計期間に比べ2億円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億円と前年同四半期連結累計期間に比べ13億円の減益となった。

	前第1四半期 連結累計期間 (億円)	当第1四半期 連結累計期間 (億円)	差引 (億円)	増減率 (%)
売上高(営業収益)	3,022	2,822	199	6.6
営業利益	122	110	11	9.7
経常利益	92	90	2	2.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	68	54	13	20.1

セグメントの業績は次のとおりである。

電気事業

売上高(営業収益)は、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の交付金や賦課金の増加及び販売電力量の増加はあったものの、燃料費調整制度の影響などにより電気料金収入が減少したことなどから、2,593億円と前年同四半期連結累計期間に比べ130億円の減収となった。

営業費用は、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の納付金や修繕費などの増加はあったが、燃料C I F 価格の低下による原料費の減少に加え、経営全般の効率化に努めたことなどにより、2,493億円と前年同四半期連結累計期間に比べ136億円の減少となった。

この結果、営業利益は100億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ6億円の増益となった。

総合エネルギー供給事業

売上高(営業収益)は、L N G販売事業収入が減少したことなどから、75億円と前年同四半期連結累計期間に比べ41億円の減収となった。

営業費用は、燃料価格下落による仕入単価の低下などから、68億円と前年同四半期連結累計期間に比べ36億円の減少となった。

この結果、営業利益は7億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ4億円の減益となった。

情報通信事業

売上高(営業収益)は、情報関係事業収入が減少したことなどから、89億円と前年同四半期連結累計期間に比べ2億円の減収となった。

営業費用は、委託費の増加などから、86億円と前年同四半期連結累計期間に比べ4億円の増加となった。

この結果、営業利益は3億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ7億円の減益となった。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

なお、平成28年7月4日に、原子力規制委員会へ島根原子力発電所1号機の廃止措置計画認可申請を行った。今後も安全確保を最優先に、廃止措置に責任を持って取り組んでいく。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、10億円である。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況について重要な変更はない。

(4) 生産、受注及び販売の実績

当社及び連結子会社の業種は広範囲かつ多種多様であり、また、電気事業が事業の大半を占めることから、電気事業の需給実績及び販売実績についてのみ記載している。

需給実績

種別		当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同四半期比(%)
発電電力量	水力発電電力量(百万kWh)	1,008	125.2
	火力発電電力量(百万kWh)	7,963	102.9
	原子力発電電力量(百万kWh)		
	新エネルギー等発電電力量(百万kWh)	2	95.5
	融通・他社受電電力量(百万kWh)	6,612	99.5
		1,252	120.8
	揚水発電所の揚水用電力量(百万kWh)	157	295.2
	合計	14,177	100.6
損失電力量(百万kWh)		866	104.6
販売電力量(百万kWh)		13,311	100.3
出水率(%)		109.0	

- (注) 1 融通・他社受電電力量の上段は受電電力量、下段は送電電力量を示しており、期末時点で把握している電力量を記載している。
2 揚水発電所の揚水用電力量とは、貯水池運営のための揚水用に使用する電力である。
3 販売電力量の中には自社事業用電力量(30百万kWh)を含んでいる。
4 出水率は、昭和60年度から平成26年度までの30か年の第1四半期連結累計期間の平均に対する比である。
5 四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある。

販売実績

種別		当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同四半期比(%)
販売電力量(百万kWh)	電灯	3,945	100.2
	電力	9,366	100.4
	計	13,311	100.3
	融通・他社販売	1,217	118.1
料金収入(百万円)	電灯	80,330	92.5
	電力	131,760	89.6
	計	212,091	90.7
	融通・他社販売	10,374	90.7

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれていない。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,000,000,000
計	1,000,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	371,055,259	371,055,259	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株である。
計	371,055,259	371,055,259		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成28年8月1日からこの四半期報告書提出日までの「2018年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」及び「2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の転換により発行された株式数は含まれていない。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年4月1日～ 平成28年6月30日		371,055		185,527		16,676

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成28年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,547,600		
	(相互保有株式) 普通株式 1,278,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 359,607,100	3,596,069	
単元未満株式	普通株式 1,622,159		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	371,055,259		
総株主の議決権		3,596,069	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、(株)証券保管振替機構名義の株式が6,600株含まれている。
また、「議決権の数」欄には、(株)証券保管振替機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数66個が含まれている。

【自己株式等】

平成28年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式)					
中国電力株式会社	広島市中区小町4番33号	8,547,600		8,547,600	2.30
(相互保有株式)					
株式会社中電工	広島市中区小網町6番12号	668,400		668,400	0.18
中国地下工業株式会社	広島市安佐南区中筋三丁目 17番8号	40,000		40,000	0.01
計		9,256,000		9,256,000	2.49

(注) 1 株主名簿上は、当社名義となっているが、実質的に所有していない株式が200株ある。
なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めている。
2 上記のほかに、日本マスタートラスト信託銀行(株)が所有する信託業務に係る株式のうち、(株)中電工が議決権に係る指図の権利を留保している570,000株を含めて完全議決権株式(自己株式等)は、9,826,000株である。

2 【役員の状況】

該当事項なし

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠し、「電気事業会計規則」(昭和40年通商産業省令第57号)に準じて作成している。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年 6月30日)
資産の部		
固定資産	2,752,386	2,750,219
電気事業固定資産	1,334,125	1,324,095
水力発電設備	123,009	122,148
汽力発電設備	187,162	183,742
原子力発電設備	88,989	88,736
送電設備	322,698	319,135
変電設備	143,580	143,940
配電設備	362,013	361,696
業務設備	80,660	78,917
休止設備	21,350	21,178
その他の電気事業固定資産	4,661	4,600
その他の固定資産	117,891	121,444
固定資産仮勘定	728,322	735,419
建設仮勘定及び除却仮勘定	714,840	723,089
原子力廃止関連仮勘定	13,481	12,330
核燃料	158,576	157,221
装荷核燃料及び加工中等核燃料	158,576	157,221
投資その他の資産	413,470	412,038
長期投資	116,429	115,593
使用済燃料再処理等積立金	46,057	42,971
退職給付に係る資産	42,369	41,958
繰延税金資産	66,627	67,261
その他	142,164	144,432
貸倒引当金（貸方）	177	179
流動資産	318,561	297,072
現金及び預金	133,485	76,071
受取手形及び売掛金	93,747	100,815
たな卸資産	55,076	57,864
繰延税金資産	9,454	9,376
その他	27,384	53,495
貸倒引当金（貸方）	586	552
合計	3,070,948	3,047,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6月30日)
負債及び純資産の部		
固定負債	1,853,511	1,819,887
社債	834,994	834,995
長期借入金	792,207	761,313
使用済燃料再処理等引当金	54,485	52,236
使用済燃料再処理等準備引当金	7,761	7,839
退職給付に係る負債	71,503	70,757
資産除去債務	75,736	76,231
その他	16,823	16,514
流動負債	530,910	546,194
1年以内に期限到来の固定負債	233,973	285,442
短期借入金	71,305	69,451
コマーシャル・ペーパー	-	10,000
支払手形及び買掛金	45,283	51,827
未払税金	23,856	11,331
その他	156,492	118,140
特別法上の引当金	77,991	78,657
渴水準備引当金	435	574
原子力発電工事償却準備引当金	77,555	78,083
負債合計	2,462,413	2,444,739
株主資本	581,320	577,750
資本金	185,527	185,527
資本剰余金	17,103	17,102
利益剰余金	393,859	390,291
自己株式	15,169	15,171
その他の包括利益累計額	23,043	20,736
その他有価証券評価差額金	20,448	17,905
繰延ヘッジ損益	448	382
為替換算調整勘定	304	424
退職給付に係る調整累計額	3,347	2,872
非支配株主持分	4,170	4,065
純資産合計	608,535	602,552
合計	3,070,948	3,047,292

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
営業収益	302,213	282,277
電気事業営業収益	271,975	259,074
その他事業営業収益	30,238	23,203
営業費用	289,972	271,220
電気事業営業費用	261,678	248,258
その他事業営業費用	28,294	22,962
営業利益	12,240	11,056
営業外収益	4,848	4,625
受取配当金	613	681
受取利息	305	191
持分法による投資利益	1,925	462
その他	2,004	3,290
営業外費用	7,820	6,662
支払利息	5,692	5,349
その他	2,127	1,312
四半期経常収益合計	307,062	286,903
四半期経常費用合計	297,793	277,883
経常利益	9,268	9,020
過水準備金引当又は取崩し	696	138
過水準備金引当	-	138
過水準備引当金取崩し(貸方)	696	-
原子力発電工事償却準備金引当又は取崩し	270	527
原子力発電工事償却準備金引当	270	527
税金等調整前四半期純利益	9,694	8,354
法人税、住民税及び事業税	2,995	2,854
法人税等調整額	204	99
法人税等合計	2,790	2,953
四半期純利益	6,903	5,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	87
又は非支配株主に帰属する四半期純損失()		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,869	5,487

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	6,903	5,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,168	1,915
繰延ヘッジ損益	112	831
為替換算調整勘定	301	91
退職給付に係る調整額	962	489
持分法適用会社に対する持分相当額	190	642
その他の包括利益合計	2,208	2,308
四半期包括利益	9,111	3,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,080	3,180
非支配株主に係る四半期包括利益	30	88

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
税金費用の計算	税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じるなど簡便な方法により算定している。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
日本原燃株式会社	64,810百万円	64,155百万円
従業員〔提携住宅ローン〕	33,827百万円	33,138百万円
水島エルエヌジー株式会社	11,057百万円	11,057百万円
水島エコワークス株式会社	4,033百万円	4,033百万円
エア・ウォーター & エネルギア・パワー山口株式会社		3,769百万円
3B Power Sdn.Bhd.	2,480百万円	2,820百万円
その他	0百万円	32百万円
計	116,209百万円	119,006百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	26,025百万円	25,844百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	9,059	25.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日

(注)配当金の総額は、内部取引消去後

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	9,055	25.00	平成28年3月31日	平成28年6月29日

(注)配当金の総額は、内部取引消去後

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気事業	総合 エネルギー 供給事業	情報通信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	271,975	11,546	6,774	290,296	11,917	302,213	-	302,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	444	192	2,495	3,132	16,558	19,691	19,691	-
計	272,419	11,739	9,270	293,428	28,476	321,905	19,691	302,213
セグメント利益又は 損失()	9,457	1,248	1,050	11,756	664	12,421	180	12,240

(注) 1 「その他」には、環境調和創生、ビジネス・生活支援、電気事業サポート等の事業を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 180百万円は、セグメント間取引消去である。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気事業	総合 エネルギー 供給事業	情報通信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	259,074	7,317	6,816	273,208	9,069	282,277	-	282,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	323	280	2,155	2,759	16,128	18,887	18,887	-
計	259,398	7,597	8,971	275,967	25,197	301,165	18,887	282,277
セグメント利益又は 損失()	10,080	766	350	11,197	75	11,121	64	11,056

(注) 1 「その他」には、環境調和創生、ビジネス・生活支援、電気事業サポート等の事業を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 64百万円は、セグメント間取引消去である。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	18円96銭	15円15銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,869	5,487
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,869	5,487
普通株式の期中平均株式数(株)	362,378,149	362,225,419
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	16円70銭	13円35銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	2	1
(うち持分法適用関連会社の潜在株式による 影響額(百万円))	(2)	(1)
普通株式増加数(株)	48,773,264	48,773,264
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、 前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2 【その他】

該当事項なし

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8 月 9 日

中国電力株式会社
取 締 役 会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 松 原 浩 平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 前 田 貴 史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福 田 真 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中国電力株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中国電力株式会社及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていない。